



くまモンポート八代



九州新幹線全線開業



日奈久温泉センター「ばんべい湯」



アウトドアステーションやつひろ



八代よかところ物産館

魅力を興す



エコイトやつひろ



お祭りでんでん館



道の駅 秘境の郷いすみ開駅式



道の駅東陽 登録証伝達及び開駅式



市役所本庁舎



未来を始める

平成17年8月1日に八代市、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村、泉村の1市2町3村が合併したことにより誕生した新「八代市」は、今年で20周年を迎えます。

20th Anniversary

- R 7 8 新市制施行20周年
- R 6 11 「ちくわん」を市公認キャラクターに認定
- R 6 10 熊本市と「県営工業団地の整備推進に向けた覚書」締結
- R 6 9 台湾新竹市と友好交流協定締結
- R 6 6 ESR株式会社及び熊本県と「県南地域の発展に向けたやつひろ物流拠点構想の推進に関する覚書」締結
- R 6 4 道の駅「秘境の郷いすみ」開駅
- R 6 3 「アウトドアステーションやつひろ」オープン
- R 6 2 合併後初の八代市名誉市民の称号を八代垂紀さんに贈呈
- R 5 9 「くまモンポート八代」完成記念式典
- R 4 5 SDGs 未来都市選定
- R 4 2 「八代市役所本庁舎」落成
- R 3 7 「八代市民俗伝統芸能伝承館お祭りでんでん館」開館
- R 3 3 道の駅「東陽」開駅
- R 2 11 八代よかとこ大使にゴリけんさんを任命
- R 2 7 「令和2年7月豪雨」発生
- R 2 6 「八代を創造(たがや)した石工たちの軌跡」が日本遺産に認定
- R 2 3 「くまモンポートやつひろ」完成
- H 30 10 「エコイトやつひろ」供用開始
- H 30 4 台湾基隆市と友好交流協定締結
- H 28 12 八代妙貞祭の神幸行事がユネスコ無形文化遺産に登録
- H 28 4 「平成28年(2016年)熊本地震」発生
- H 27 3 「走り水ノ瀧」が国名勝に指定
- H 26 6 「くまモンプラザわくわくオープン」
- H 26 3 「八代城跡群古蹟跡妻古城跡八代城跡が国史跡に指定
- H 25 「5.5万t級船舶対応」完成

- H 24 住民自治組織「地域協議会」発足
- H 23 3 九州新幹線新八代「博多間開業(全線開業)
- H 23 3 「八代妙貞祭の神幸行事」が国重要無形民俗文化財に指定
- H 22 八代港重点港湾選定
- H 22 新八代駅がめさん公園開園
- H 21 日奈久温泉センター「ばんべい湯」落成
- H 21 6 男女共同参画都市宣言
- H 21 松中信彦スポーツミュージアム開館
- H 21 「八代よかとこ物産館」開館
- H 21 2 「万葉の里公園」開園
- H 21 2 「不知火及び水島」が国名勝に指定
- H 20 鏡ヶ池公園開園
- H 20 市の花「桜」
- H 20 市の木「晚白柚、市の鳥「かわせみ、市民の花「やつひろ草」制定
- H 20 希望の里「たいよう」落成
- H 19 9 「八代緑の回廊線」全線開通
- H 19 9 「くまモンプラザすくすく」オープン
- H 19 八代よかとこ大使に八代垂紀さん、陣内貴美子さん、松中信彦さんを任命
- H 19 非核平和都市宣言
- H 18 健康都市宣言
- H 18 交通安全都市宣言
- H 18 人権尊重都市宣言
- H 18 新「八代市」誕生
- H 17 8 鏡町、東陽村、泉村が合併、
- H 17 8 八代市、坂本村、千丁町、

八代市20年の主な歩み

2005～2025

- 保育料 完全無償化**
- 子ども医療費 全額助成**
- 出産祝い金 第1子からの現金給付**
- 妊婦支援給付金 妊婦1人あたり 5万円**
- 子ども家庭センター 妊産婦・子ども子育て世帯の相談窓口、専門スタッフがサポート**



八代で育てる

子どもファーストやつしろ
 社会福祉法人 文政福祉社会
 文政保育園 副園長
 八代市鏡子育て支援センター
 宇佐美 純代さん

八代市は、保育料無償化や今年3月の「八代市子ども計画」策定など「子どもファースト」の取り組みには、とても力を入れていて実感があります。高齢化社会を支える上でも子育て環境の充実はとても大事なことだと思えます。そのためにも切れ目のない子育て支援と地域社会全体で子育てに関わることを大切に。子どもたちには、たくさん遊んだ八代地、素敵な大人になりたいと思える人との出会い、人を「信じる」楽しむ「味わう」体験をたくさんして欲しいと思っています。この体験が「八代のココロがいい！」という思いにつながり、「子育てするなら八代」という人が増えていけばいいと思います。



389年の歴史ある 妙見祭に誇りをもって 楽しんでもらいたい
 八代妙見祭保存振興会
 会長 宮崎浩一さん

平成6年に現組織の前身である「八代妙見祭実行委員会」を設立し、御夜の開催などを行ってきました。現在の保存振興会になってからは、江戸時代の妙見祭が描かれた絵巻などの史料に基づいた神幸行列を再現したことなどによって、国指定重要無形民俗文化財となり、最終的にユネスコ無形文化遺産登録につながりました。

今後も妙見祭の魅力を発信し続け、次の世代の子どもたちにつなぎ、妙見祭を「市民の宝」と思ってもらえるように努めてまいります。

子どもたちが未来の担い手として誇りをもって祭りを支えてくれたら幸いです。50年100年それ以上続く祭りに育つてほしいと願っています。



伝統をつなぐ



次の世代につなぐ 「石工の郷」
 東陽まちづくり協議会
 会長 橋水 高徳さん

東陽村時代から、石づくりの文化を伝承するため、その拠点となる「石匠館」を中心に、さまざまな取り組みを行ってきました。市町村合併を経て、旧東陽村だけでなく八代市全体の石づくり文化が、令和2年に日本遺産として認定されたことは、地域の財産と石工たちの技術がついに全国的に認められたと、誇らしい気持ちになりました。

現在は、東陽中学校のボランティアガイド事業に取り組んでいます。将来的には一般のボランティアガイドも育成したいと考えています。これからも石匠館を交流の拠点として「石工の郷」の魅力を次の世代に伝えていきたいです。





未来へ繋げる!八代の農林水産業



八代地域農業協同組合
代表理事組合長
山住昭二さん

J A やつしろうも広域合併して30周年を迎えました。J A の取り組みは「農業者の所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目指すところで、これからも安心・安全な農畜産物を八代から全国へ発信します。また、「食と農」を通じて八代市の発展、組合員や地域住民の願いや期待を実現できるようJ A としての役割を果たしてまいります。



坂本住民自治協議会
会長 萩田陽一さん

過疎と少子高齢化の宿命的課題を抱える中で、先の大災害を教訓に毎年7月4日を「さかもと安心安全の日」と定め、七夕飾りや慰霊の献花を行っています。「地域おこし」から地域の「こしへ」を合言葉に復旧から復興を目指して「みんなで取り戻す生き生き笑顔のさかもと」につながることを願って、心を一つにして歩を進めます。



坂本町創造的復興



八代商工会議所
会頭 竹永淳一さん

八代商工会議所は、昨年6月から人吉・水俣商工会議所と連携し、「県南経済連携協議会」を設立しました。協議会では、くまもと県南フッドバレー構想の推進や、クルーズ船を活用した広域観光の振興など、県南地域の経済発展に尽力しています。私たちは、誰一人取り残すことのない街づくりを目指し、今後も産業基盤の強化と雇用創出に力を注ぎ、働きやすく、住みよい八代の実現に取り組んでまいります。



新八代駅周辺整備

八代・天草シーラインの実現

20th Anniversary



八代・天草シーライン
建設促進民間協力期成会
会長 吉住一郎さん

2021年2月、「八代・天草シーライン建設促進協議会」が設立され、同年6月に熊本県の「新広域道路交通計画」に構想路線として位置付けられました。1989年からたくさんの皆様と運動を始めて32年、実現へ向けてのスタートを切りました。夢から現実へ、今まで以上の地域の皆様のお力で実現へ向けて走ります。八代天草8.8km、車で10分!

実現へ向けて地域の力を結集しましょう!

新市誕生20周年記念式典

- ◎日時 8月1日(金) 10:00~12:00 (9:30~オープニングアトラクション)
- ◎場所 桜十字ホールやつしろ 市民ホール

新市誕生20周年を記念し、これまで市政発展に貢献、尽力された方を顕彰するとともに、将来に向かいさらなる飛躍と発展につながる契機とするため、20周年記念式典を行います。

一般参加者は直接会場へ来場ください。



八代市商工会
会長 野村浩一さん

八代市商工会は、「行きまず聞きます提案します」を合言葉に、地域事業者とともに歩み、様々な挑戦を支えてきました。これからも変化の時代に対応し、地域事業者への経営支援・販路拡大・人材育成事業承継など多面的な支援を通じて、事業者の声に寄り添い、持続可能な地域経済の実現に向け、地域の未来をともに切り拓いてまいります。



八代港港湾振興協会
会長 松木喜一さん

八代地域の最大の特徴は九州の交通の結節点にありながら、国際貿易港「八代港」を有することであり、常に世界とつながる「海」「港湾」を基軸に発展してきました。近年、TSMC進出で注目を集める県北ですが、半導体製造に必須である高圧ガスや関連するタンクコンテナの大半は県南の八代港がゲートウェイです。地域の発展と共にこれからの「八代港」の役割は益々重要なものとなるでしょう。「港なくして八代の発展はない!」これがわれわれの永遠のテーマです。



八代港利活用